

一般質問(要旨)



加藤 明良 議員
いばらき自民党
水戸市選出
分割方式

本県の魅力度向上に向けた取り組み

議員 「地域ブランド調査」において、本県の魅力度ランキングが再び最下位となった。魅力度向上のため、県外への情報発信の強化や知事の精力的なトップセールスが必要と考えるがどうか。

知事 茨城マルシェやいばキラTVの充実に加え、「なめんなよいばらき県」のスローガンを前面に「いばらきを知ろう!大キャンペーン」で魅力を紹介していく。私自身を含め、県庁をあげて県の魅力発信に精一杯取り組む。



横山 忠市 議員
いばらき自民党
行方市選出
一括方式

鹿行地域の振興

議員 鹿行地域は著しい人口減少や少子高齢化により、活力の低下が懸念される。地域の個性を活かしたさらなる発展につながる振興策が必要である。「生活大県」の実現に向けた本地域のビジョンは、知事 首都圏の食料供給基地としての農業の振興や、鹿島港や東関東自動車道水戸線の整備効果を活かした国際競争力のある産業拠点の形成、自然や歴史、スポーツ資源を活かした観光交流の促進に取り組む、元気な地域にしていく。

水戸ホーリーホックの活用と支援

議員 水戸ホーリーホックは地域の期待とともにファン層を拡大しており、今後のさらなる発展が期待される。地域資源としての活用と支援について今後の取り組みは、企画部長 本県の貴重な地域資源と捉え、県のイメージアップや地域活性化事業などに活用するとともに、茨城空港での展示やいばキラTVでの配信など、さらなるPRの検討を含め、水戸市などと連携を図りながら支援を行っていく。

(ほかに、偕楽園・弘道館のグラウンドデザインなども質問)



活躍が期待される水戸ホーリーホック

霞ヶ浦導水事業の促進

議員 霞ヶ浦導水事業は完成まであと一步のところまで足踏みしている。霞ヶ浦の水質浄化のため、事業を促進し、一日も早く導水を開始させたい。今後の県の対応は、企画部長 国の検証作業の九月の幹事会で本事業が他と比較して最も有利との案が示された。治水・利水の両面、特に霞ヶ浦の浄化に極めて重要な事業であり、市町村や関係都県とともに事業継続と早期完成を国に対し強く求めていく。

(ほかに、農業の振興、公立小中学校統廃合への支援なども質問)



県民の貴重な財産である霞ヶ浦



川口 政弥 議員
自民県政クラブ
取手市選出
一括方式

災害に強い県土づくりの推進と自衛隊などとの連携

議員 県民が安心して暮らせる社会づくりを推進するため、自衛隊をはじめ、警察や消防など関係機関との連携が必要であるが、災害時に自衛隊など関係機関との連携を図っていくのか。

知事 県と警察、自衛隊など防災関係機関からなる連絡会議を開催し、意見交換などを行うほか、総合防災訓練を通じて、災害時に円滑かつ的確に初動対応や応急対策が実施できるよう、一層の連携強化を図る。

指定廃棄物等の保管

議員 指定廃棄物※などは、最終処分場候補地選定が難航しているため、県内各地に分散して保管せざるを得ないが、保管対策についてどのような対応をしていくのか。

生活環境部長 これまで三度にわたる県独自の現地検査を行い、その都度全保管施設で保管基準を満たしていることを確認している。今後も、定期的な検査のほか、一時保管者と相談し、屋内保管など保管対策の強化を進めていく。

(ほかに、取手競輪、県道谷田部藤代線の整備なども質問)



自衛隊との訓練の様子



山岡 恒夫 議員
いばらき自民党
牛久市選出
一括方式

感動のある茨城づくり

議員 障害者の就労促進のため、共に働くことでお金に換算できない豊かさが得られることを、知事を先頭に企業などにPRし、障害者と共に働ける事業所を一つでも多くつくるべきである。障害者の就労支援に向けた取り組みは、知事 自らも企業関係者との懇談などを通して、障害者の明るさや真面目な姿勢が職場に様々な良い影響をもたらすことなどを訴え、障害者に働く場を一つでも多く提供できるように取り組んでいく。

(ほかに、圏央道の周辺整備、県税徴収率の向上策なども質問)



都内有名専門学校で対面販売実習を行う農業大生

農業大県としての農業教育のあり方

議員 実践力や課題解決能力を持った人づくりを進め、未来を担う人材を育てていくことが、茨城農業の発展には不可欠である。今後、農業大学校においてどのような農業教育を進めていくのか。

知事 栽培や経営の基礎習得に加え、対面販売実習などを通じ、優れた農業者を養成する。また、大学や研究機関などが数多い本県の学習環境を生かし、農大を中心として農業教育の先進県を目指していく。

原子力発電関係道県議会議長協議会が開催され、原子力発電の安全確保に関する要請書を国に提出しました

本県を含む原子力発電関連施設が立地する、十四道県議会議長で構成される「原子力発電関係道県議会議長協議会」が十月三十一日に開催されました。

臨時総会終了後、会長である本県の白田信夫議長を中心に、浜田靖一自民党幹事長代理のほか、赤羽一嘉経済産業副大臣及び池田克彦原子力規制庁長官を訪問し、原子力発電の安全確保などに関する要請書を提出しました。

要請において、白田議長は福島第一原子力発電所事故の早期収束について「東京オリンピック・パラリンピックの開催決定や安倍総理大臣が世界に事態の収束を約束したことも踏まえ、一層スピード感を持って対応していただきたい」と求めたのに対し、赤羽経済産業副大臣は「国としてもしっかりと対応していく」と答えました。



赤羽一嘉経済産業副大臣(中央)に要請を手渡す白田信夫県議会議長(左から二番目)

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(小田木真代委員長)では、七月二十九日に委員会を開催し、全国都道府県議会議長会の内田謙事調査部長から「決算審査の考え方」について、意見聴取を行いました。

また、十月十六日に付託された「平成二十四年度茨城県公営企業会計決算の認定」及び「平成二十四年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分」について、十月二十二日に委員会を開催し、審査を行いました。

今後は、「平成二十四年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催し部門別審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑の後、採決を行う予定です。

※【指定廃棄物】…東京電力福島第一原発事故で発生した放射性セシウムの量が1キログラム当たり8,000ベクレルを超過している焼却灰や汚泥などであって、環境大臣が指定した廃棄物。